



区議会第1回定例会閉会・田中まさや議員が、区長予算に反対討論③

区民の声に背を向ける一方、財界戦略の大企業奉仕は許されない

3月25日の区議会第1回定例会最終本会議で、日本共産党渋谷区議団を代表して私が行った一般会計予算等への反対討論(要旨)の第3回目を紹介します。

4. コロナで苦しむ区民に背を向ける一方で、財界戦略に従い、国際競争力を高め、大企業の儲けを最優先

東急などが中心となって進めている渋谷駅周辺再開発では、総額80億円の税金

投入を進めています。新年度の渋谷駅桜丘口地区への補助金は7億5600万円、渋谷駅中心五街区整備事業として、新年度は駅街区北側自由通路に6億8千万円、南口北側自由通路に2億8800万円もの予算を計上しています。こうした大企業中心の事業への税金投入は認められません。

また、東京都の旧児童会館跡地と区的美竹第二庁舎と区立美竹公園を一体に民間に定期借地させ、営利事業を展開させるステップアップ事業に470万円余を計上し、新年度には募集が行われる予定です。大企業の利益のために区民の大切な財産である公有地を差し出す事業は認められません。

さらに国内外から企業を呼び込み渋谷をグローバル拠点都市にするとして、これらの企業のためにコンソーシアム運営費、不動産の賃貸や資金調達、起業家育成システムの構築、PR費、ウェブサイトの運営、ピッチイベント・トークセッション、実証実験事業、ワンストップセンターの設立など手取り足取り支援する予算を、区の独自予算で1億456万円計上しています。

いま商店街でも休業業が出ており、かろうじて営業を継続している店舗なども、「これ以上の融資は不可能。いつまで持ちこたえられぬかな」との声があふれています。区民のくらしや雇用を支えてきた中小事業者や商店街が、コロナ禍でかつてない苦しみに見舞われているときに、固定費支援などの願いには背を向けて、1億円もの税金を投入することなど許されません。

また持ちこたえられぬかな「との声があふれ

の役割を投げ捨てるもので到底許されません。20億円あれば、住民税非課税世帯に一人3万円の給付金を支給し、中小企業の固定支援にも踏み出すことができます。

5. 不要不急の無駄遣いの予算

わが党区議団の昨年のアンケートでは、区政への要望で最も多かったのが、税金のムダ遣いをただすことでした。コロナ禍での生活困窮の中で、税金の使い方には区民の厳しい目が注がれています。

ところが今年度も、河津さくらの里じぶやに1億2304万円の予算が計上されています。今年度の宿泊利用者はコロナ禍の影響で1月までの宿泊者累計は4586人にすぎません。そもそも区民の要望もないまま老朽化した施設を十分な検討もなく取得、開設し、今後大規模改修など多大な税金投入につながるこの施設は廃止すべきです。1億2千万円あれば、区内で働く民間保育士の賃金を月一万円引上げることが可能です。

以上、反対の討論とします。

難聴高齢者補聴器購入助成は、

7月から受付開始予定

住民の運動と共産党区議団の提案で実現した難聴高齢者補聴器購入助成事業が今年度から始まります。区議会第1回定例会の福祉保健分科会で明らかになった制度のアウトラインをご紹介します。

なお予算審査時の検討状況なので、変更になる場合があります。ご注意ください。詳細は、6月の区ニュース掲載。

○助成額：一人35,000円(1回限り)

※予算額：175万円

(50人分の予算ですが、申請が予算を上回った場合も、全員に助成します。)

○対象者：65歳以上で中等度以上の難聴(補聴器をしないと会話が困難な程度)かつ住民税本人非課税

○申請の手順：地域包括支援センターに申請書を提出後、医療機関で証明書(診断書)を書いてもらう。

○助成方法：償還払い。

○調整：現在のところ区の指定した3店舗で購入した場合は、その店での調整は無料ですが、区独自の調整は検討中。

また、東京都の旧児童会館跡地と区的美竹第二庁舎と区立美竹公園を一体に民間に定期借地させ、営利事業を展開させるステップアップ事業に470万円余を計上し、新年度には募集が行われる予定です。大企業の利益のために区民の大切な財産である公有地を差し出す事業は認められません。

さらに国内外から企業を呼び込み渋谷をグローバル拠点都市にするとして、これらの企業のためにコンソーシアム運営費、不動産の賃貸や資金調達、起業家育成システムの構築、PR費、ウェブサイトの運営、ピッチイベント・トークセッション、実証実験事業、ワンストップセンターの設立など手取り足取り支援する予算を、区の独自予算で1億456万円計上しています。

2021年度予算に対する反対討論の柱

1. 新型コロナ対策が極めて不十分
2. コロナ禍で苦しむ区民に対して、負担増と福祉の切り捨てを押し付け、福祉の増進義務を負う区の責任を放棄
3. 子育て支援や福祉の充実を求める声に背
4. コロナで苦しむ区民に背を向ける一方で、財界戦略に従い、国際競争力を高め、大企業の儲けを最優先
5. 不要不急のムダ遣い予算